

国立遺伝学研究所 公開講演会2012

2012年 **11月3日(土)**

参加無料

12:30~16:30 (12:00開場)

秋葉原コンベンションホール

JR秋葉原駅電気街口より徒歩1分
東京都千代田区外神田1-18-13 秋葉原ダイビル2F

お申し込みは

www.kokai-koenkai.jp ※当日参加も可能です

● 講演



北川大樹 特任准教授(中心体生物学研究室)

知っていますか? 細胞の「中心体」



北野 潤 特任准教授(生態遺伝学研究室)

新しい種はどのように誕生するか〜トゲウオの例〜



中村保一 教授(大量遺伝情報研究室)

たくさんのゲノム情報をみんなで共有するために

● 研究者と語ろう (研究室と総合研究大学院大学・遺伝学専攻を紹介)

生命科学に興味のある方、大学院進学を目指す皆さん、研究者を目指す皆さん、
気軽に対話できるチャンスです。ぜひご参加ください。

遺伝研の教授陣が
会場に集結!

知りたい! 生命科学の最先端

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

国立遺伝学研究所

〒411-8540 静岡県三島市谷田1111 TEL.055-981-6707(代表) 055-981-5873(広報)

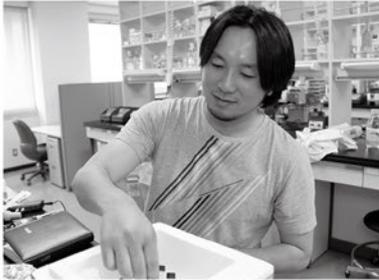
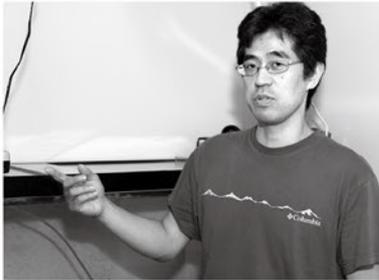
国立遺伝学研究所(遺伝研)は、生命科学分野におけるナショナルセンターとして世界の最前線で研究を行っています。また、大学院(総合研究大学院大学・遺伝学専攻)を併設し、研究者を目指す大学院生に充実した学習環境を提供しています。

<http://www.nig.ac.jp/> 遺伝研

→検索

知りたい! 生命科学の最先端

プログラム

12:30	ごあいさつ 小原雄治所長	
12:40	講演 1 知っていますか?細胞の「中心体」 北川大樹 特任准教授 (中心体生物学研究室)	
	「中心体」は、多くの謎が残されている細胞小器官。たとえば、受精卵においては、卵子由来の中心体は消失し、精子由来の中心体のみが受け継がれることをご存知ですか? 生命現象の様々な局面で司令塔として働き、がんや不妊症などにも関わる中心体の役割について紹介します。	
13:20	講演 2 新しい種はどのように誕生するか~トゲウオの例~ 北野 潤 特任准教授 (生態遺伝学研究室)	
	日本にも生息する小さな魚「トゲウオ」は、外見や行動が、種や集団の間で大きく異なっています。どうやって多様な環境に適応したり、どうやって新種が誕生したりするのでしょうか? トゲウオの「多様性」に注目して、進化生物学の根本的な問いに迫ります。	
14:00	休憩	
14:10	講演 3 たくさんのゲノム情報をみんなで共有するために 中村保一 教授 (大量遺伝情報研究室)	
	次世代シーケンサー (NGS) によってもたらされる大量のゲノムデータ。その解析をより効率よく手軽に行い、正確にデータベースに登録するしくみを作っています。ゲノム情報は世界の人々の共有財産。みんなで活用できる基盤構築の苦勞と挑戦についてお話しします。	
14:50	「研究者と語ろう」 研究室パネル展示では、遺伝研の多数の教授たちが会場に集まり、進行中の研究についてお話しします。併設大学院 (総合研究大学院大学・遺伝学専攻) の紹介もあります。生命科学に興味のある方、大学院進学をお考えの方、気軽にどんどん質問してください!	
16:30	終了	

参加ご希望の方は、事前申し込みをお願いします。[*当日参加も可能]

お申し込み先

www.kokai-koenkai.jp

講演者インタビュー記事も掲載中

<http://www.nig.ac.jp/>

遺伝研

→ 検索

秋葉原コンベンションホール
東京都千代田区外神田 1-18-13
秋葉原ダイビル 2F 正面入口

